

報恩講執行

別院再建後、初の執行

昨年十二月三日・四日に広島別院で報恩講が執行されました。

二日間で僧侶約四十名、参詣者約百名が参集し、別院再建後、初の報恩講が盛大かつ、厳かに勤められました。



Vol.8
冬号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

儀式は別院の報恩講ならではと思ひます。また来年も必ずお参りいたします」と喜ばれています。

講師の橋本真師（能登教区駐在教導）は、「地元の皆様の長年の悲願であつた別院再建が成り、こうして報恩講をお迎えできたことは誠に喜ばしいことです」と祝い、「現代はかたちを軽視、あるいは無視する時代。しかし報恩講という儀式（かたち）があつたからこそ親鸞聖人の教えが永く伝えられてきたのです。今後も報恩講を大切にお勤めください」と仏事の大切さを話されました。



別院の定紋（じょうもん）を制定

広島別院では、再建に際して新たに寺院の紋である定紋を制定しました。この紋は滋賀県高島市鴨の慈敬寺（じきようじ）からいただいたものです。

戦国時代、織田信長と石山合戦を戦つていた本願寺第十二代教如上人は本願寺を退去後、毛利輝元を頼つて、側近の慈敬寺証智・教智父子と一緒に、広島に滞在していたと伝えられています。その時、輝元

詳しく述べは広島別院まで

お寺の活動いろいろ

初の在広門徒会報恩講執行

昨年十一月十五日、北広島町の最勝寺（安芸北組）広島門信徒会（広島市内在住の門信徒会）の報恩講が別院で勤められました。

別院再建の理念の一つである在広門徒（地元を離れ、広島市内に住む門徒）の拠点となるべく再出発した広島別院に、最勝寺住職をはじめ同郷の門徒二十名の親睦の輪が広がりました。

宗教基礎講座（安芸南組主催）のお知らせ

昨年七月から開講した宗教基礎講座（全八回）もいよいよ後半に入りました。定員に余裕がありますので、受講希望の方は講座当日に受付にてお申し込みください。

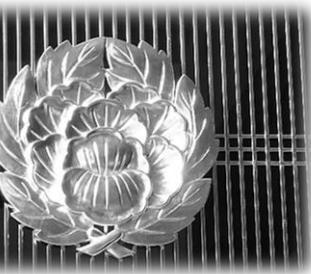


古田和弘師

【次回講座】一月七日（土）午後一時～四時

から寄進された寺が後の広島別院の基になりました。後に教如上人は、この寺を教智に託して帰京します。（詳しくは『広島別院だより』vol.3 参照）

広島別院と慈敬寺は深いご縁があることから、この度の別院再建を記念して、二〇一三年四月に慈敬寺の定紋である鴨牡丹紋（かもぼたんもん）が正式に広島別院の定紋となりました。



お寺のはてなワード(5)



別院行事のごあんない

○住職（じゅうしょく）

お寺の運営や教化の代表責任者。淨

土真宗では住職を「ご院さん」「院主（いんじゅ）さん」「院家（いんげ）さん」などと呼びます。他宗では、天台・真

言・浄土宗系は「和尚」。禪宗系は「方丈・和尚」。日蓮宗系は「上人」と呼ぶことが多いようです。

ちなみに「和尚」には「おしよう」、「かしよう」、「わじょう」など様々な読み方があります。

○坊守（ぼうもり）

浄土真宗では住職の伴侣のことを指すことが多いのですが、現在は男性坊守や住職の配偶者以外の坊守も認められています。（真宗大谷派の場合）

他の宗派では、寺庭婦人、大黒、梵妻さん、お庫裡さん、道念さんなどと呼ぶそうです。

○新発意（しんぱち）

仏門に入つて間もない人のことです。浄土真宗では得度した幼少の子のことを言います。

ちなみに住職を引退すると老院（ろ

ういん）、または前住（ぜんじゅう）と言い、住職になる前の寺の後継者を若院（わかいん・じやくいん）、または後住（ごじゅう）とも言います。

道場樹　～編集室より～

先日、事故で亡くなつた子供さんの葬儀を勤めました。突然の悲しい現実に、ご遺族の悲しみは計り知れないものでした。「生」と「死」は隣り合わせの誰にでも平等な事実なのだとということをあらためて感じ、「あたりまえ」ではない「今」

をあたりまえに過ぎてゐる自分を自覚するべきだと思いました。それと同時に、深い悲しみを抱えている人が目の前にいるとき、私はどうあるべきかを考えさせられました。

「春彼岸会」

はるひがんえ

【期日】 一〇一五年三月二十三日（月）

【講師】 宮戸 大觀師（広島市安芸区 龍善寺住職）

【日程】 午後一時

二時半 法話

終了（予定）

勤行

【講師】 青木 韶師（同朋大学講師）
午後一時半 法要始
廣島別院の開基である教如上人の四百回忌法要を厳修します。詳細は次号『廣島別院だより 春号』でお知らせいたします。



教如上人

「教如上人四百回忌法要」

【日時】 一〇一五年四月十八日（土）

真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町4-16

Tel 082-241-5342(電話・FAX共通)

【HPアドレス】

<http://www.ac.auone-net.jp/~hirobetu/>